

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	園芸学専攻		
科目名称 [英語名称]	果樹園芸学特論 I [Advanced Lectures on Pomology I]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	611100	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	前田 隆昭			学位授与の方針 との関連	修士課程DP1		
授業概要	果樹と一言で言っても温帯から熱帯まで幅広く存在します。本講義では、各々の果樹について解説するとともに、最新の研究成果を使用しながら科学的に講義を進めていきます。また、各果樹の生産場面における栽培技術的特徴や問題点を紹介することにより、応用学問としての理解をさらに深めていきます【知識・理解の育成】。						
関連する科目	履修後は果樹園芸学特論Ⅱを履修することが望ましい。						
授業の進め方と方法	毎回、授業の始まりに、前回の復習を兼ねて小テストを行います【知識・理解の育成】。その後、授業を始めます。授業はパワーポイントを用いて行います。本授業はディスカッション、プレゼンテーションを取り入れたアクティブラーニング形式で実施します【専門分野の知識・技能の育成】【コミュニケーション能力の育成】。						
授業計画	以下の果樹類について、国内の大学や果樹試験場等の最先端の研究の現状を概説します。 1. 授業の進め方についてガイダンス 授業の概要および進め方について説明する。 2～5. 落葉果樹(リンゴ・ナシ・カキ・モモ・ウメなど) 我が国での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説します。 6～10. 常緑果樹(カンキツ類を中心に) 我が国での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説します。 11～15. 熱帯果樹(マンゴー・アボカドなど) 我が国での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説します。						
授業の到達目標	最先端の果樹園芸学の研究や国内の先進農家の栽培上の問題を知ることにより、現在の果樹園芸が抱える諸問題について、どのように解決したらよいか自ら考えるようになることを目標とします【専門分野の知識・理解の育成】。						
授業時間外の学修	次回、講義で使用する文献を配布しますので、事前に予習するとともに、講義後もきちんと復習して下さい(1. 5時間)。						
課題に対する フィードバック	小テストについては終了後解説します。	評価方法		受講態度(50%)、課題提出(50%)			
テキスト	特にありません。						
参考書	随時、文献を配布します。						
備考							